

(中国丙03)
風しん発生推移
= 2023年12月度 =

発表: 2024年01月15日 国家NDPCA

作成: 2024年01月18日
日中医療衛生情報研究所

風しん：傾向としては減少に

2023年2月5日の風しんセミナーに刺激をうけ
中国の2008年以後の状況に関し調べてみました

- 2008年には12万人を超える状況、
- コロナの流行る直前2019年に再び爆発するも、
- 傾向としては減少 日本のような数年おきの流行の様子は見られない。。
- 2009年から12年にかけておおよび2019年には、春から夏にかけてのピークが見られたが、最近ではあまりそれが感じられない。
- 2019年だけはなぜか突発的に3万人越え。
- 死者は毎年0か1人のみ

丙03：風しん

